

放課後等デイサービス 事業所における自己評価結果（公表）

事業所名 ハッピーテラス浜松教室(浜松入野教室)

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	該当なし	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	75.0%	25.0%	0.0%	0.0%	当日の利用人数によって机のレイアウトを変更している。	室内で運動を行うにはスペースが十分でない。
	②	職員の配置数は適切であるか	75.0%	25.0%	0.0%	0.0%	精神保健福祉士、社会福祉士、保育士等の有資格者を配置している。	適切な人数で支援しているが、事務作業が多忙で子ども対応を非常勤職員に任せることが多くなる。
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	50.0%	50.0%	0.0%	0.0%		浜松教室は入口の前に数段の階段がある。
業務改善	④	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	参加出来なかった場合は会議録を閲覧できるようにしている。	非常勤職員まで参加することが難しい。
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	毎年1回保護者アンケートを実施し、頂いた意見を業務の改善に活かしている。	
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	ハッピーテラスのホームページに掲載している。	
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	0.0%	25.0%	75.0%	0.0%	第三者評価は実施していませんが、ハッピーテラス本部の職員による訪問研修を受けてアドバイスを頂いた内容を日々の支援に活かしている。	
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	Zoom等も利用して定期的に研修に参加できるようにしている。	勤務や支援時間の都合上参加できない研修もある。
適切な 支援の 提供	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	Zoomも含めてできる限り顔を見ながら対話するようにしている。	電話対応になったり、営業時間外に行わなければならないことがある。
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	25.0%	50.0%	25.0%	0.0%	学校や家庭の様子などを聞きながら保護者のニーズや子どもの課題を聞き出している。	以前はハッピーテラス独自のアセスメントツールを利用していたが、システムが変更になってからは使いづらくなり使用しなくなった。
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	朝のミーティングで取り組み内容をスタッフに伝え、改善点を共有してから今日のトレーニングに活かしている。	
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	75.0%	25.0%	0.0%	0.0%	ハッピーテラス独自の教材も活用しながらいろいろな内容に取り組みるようにしている。	繰り返して行うことも大切であるが、長年通所している児童が飽きないように工夫していきたい。
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	休日は一日の時間が長くなるので外出活動も取り入れながらたくさんの経験ができるようにしている。	
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	集団行動が苦手な子には職員が間に入りながら本人の意思も尊重し、なるべく関わりを持ってるようにしている。	
	⑮	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	非常勤職員が参加できないので、後から要点をまとめて伝達している。	
	⑯	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	75.0%	25.0%	0.0%	0.0%	2教室に分かれているが、両教室の児童の様子をPCで確認できるようにしている。また週に1度Zoomを活用して両教室の状況を共有している。	営業時間内で効率よく支援の振り返りができるようにしたい。
	⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	75.0%	25.0%	0.0%	0.0%	支援計画の目標に沿って簡潔に記入できるようにしている。	どの職員も支援目標に沿って日誌が書けるようになることが課題。
	⑱	定期的モニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	毎月1回支援目標に対する振り返りやその月の様子を書面にまとめて配布している。	利用者数が多いので、保護者の方に配布するのが遅くなりがちである。
関係機関 や保護者	⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っているか	75.0%	25.0%	0.0%	0.0%	月に1回は季節行事や公共交通機関等を利用した外出活動を実施するようにしている。	創作活動や運動に関する活動も増やしていきたい。
	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	75.0%	25.0%	0.0%	0.0%	教室長や児童発達管理責任者が参加している。	関係機関が多いと日程や場所の調整が難しいことが課題。
	㉑	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	保護者から了承を頂いている児童に関して、こちらから学校を訪問して児童のハッピーテラスでの様子をお伝えしている。	毎月訪問できるのが望ましいが、数か月分をまとめて持参したり、郵送対応になっている。
	㉒	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	0.0%	25.0%	0.0%	75.0%	現在対象になる児童はいません。	
㉓	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	25.0%	25.0%	50.0%	0.0%	児童発達支援事業所から書面で情報提供頂けるようお願いしている。	保育園や幼稚園との情報共有が難しいことが課題。	

放課後等デイサービス 事業所における自己評価結果（公表）

事業所名 ハッピーテラス浜松教室（浜松入野教室）

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	該当なし	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
との連携関係機関や保護者との連携	24 学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	0.0%	50.0%	0.0%	50.0%		卒業者の相談支援担当者に情報共有できる旨を伝えたが、その後連絡がなかった。移行した事業所からも連絡がなく連携ができなかった。
	25 児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	0.0%	50.0%	25.0%	25.0%		以前は連携を頻繁にしていたが、業務多忙でできていない。
	26 放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	75.0%	0.0%	25.0%	0.0%	直接的な交流はないが、子ども館を利用したり地域の公園を定期的にご利用することで接する機会がある。	利用していることを知られたくない児童への配慮が課題。
	27 (地域自立支援) 協議会等へ積極的に参加しているか	0.0%	25.0%	75.0%	0.0%		Zoomでの参加方法もあるが日程の調整が難しく参加できない。
	28 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	大事な伝達事項は口頭で伝えるだけでなく、支援日誌の共有事項にも入力するようにしている。	
	29 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	25.0%	75.0%	0.0%	0.0%	お迎えに来た保護者の方には気になった点について直接アドバイスしている。	十分に時間をとってレクチャーができていない。
保護者への説明責任等	30 運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	75.0%	25.0%	0.0%	0.0%	契約の際に書面を見せながら説明を行い、分かりづかったことは再度説明している。	児童発達管理責任者以外の職員も聞かれた際に説明できるようにしていきたい。
	31 保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	お迎えの時だとゆっくり話せないため電話やメール等でも相談に対応している。	子どもに対応している時間帯にはゆっくりと保護者の方の相談に応じられないことがある。
	32 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	0.0%	50.0%	50.0%	0.0%		感染状況が落ち着いてきたので、テーマを決めて保護者会を開催できるようにしたい。
	33 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	苦情の窓口を設置して電話やメールでの苦情やご意見に対応している。	
	34 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	隔月でハッピーテラス通信を発行している。表面で児童の活動の様子、裏面に翌月の活動プログラムを掲載している。	通信を発行後にすぐに配布できない利用者がいる。PDFも活用しながら早めに利用者の方に見て頂けるようにしたい。
	35 個人情報に十分注意しているか	75.0%	25.0%	0.0%	0.0%	メールの誤送信やお便りの配布ミスがないように慎重にダブルチェックするようにしている。	日々の業務が忙しくて、確認がおろそかにならないようにしたい。
	36 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	視覚優位の子には紙に書いたり、イラストを用いながら説明している。	
	37 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	0.0%	50.0%	50.0%	0.0%		
非常時等の対応	38 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	50.0%	50.0%	0.0%	0.0%	緊急時の避難場所や協力医療機関については見やすい場所に掲示している。	十分に周知できていないことが課題。
	39 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	なるべく多くの児童が参加できるように年に2～3回一週間かけて集中的に訓練を実施している。また、今年度はAED体験も実施した。	全ての利用児童の参加が難しい。
	40 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	ハッピーテラス本部や浜松市の放課後等連絡会主催の研修に参加している。	勤務時間の都合上非常勤職員が参加できない。
	41 どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	身体拘束に関する要件を職員間で話し合っって個別支援計画に記載した。	
	42 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	25.0%	75.0%	0.0%	0.0%	契約時にアレルギーの確認を行い、来所時確認表に児童のアレルギー情報について記載し、その日に対応する職員がアレルギーについて把握できるようにした。	子ども同士のやおやつとの交換は行っていませんが、お土産等で頂く事もするため、お菓子の提供は慎重に行うようにしたい。
43 ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	50.0%	25.0%	25.0%	0.0%		慣れてくると意識が薄れてしまうことがあるので、ミーティングの際に注意事項を確認するようにしていきたい。	

※この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。